

11.88インチ デジタルルームミラー

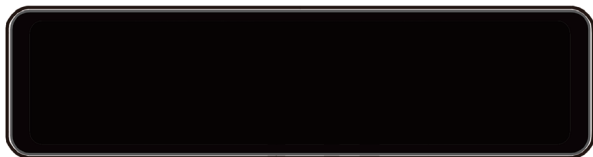
【取扱説明書】

MDR-G004#/G005#

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■本体各部名称	7
■microSDカードの挿入・取り出し	8
■電源のON/OFF	9
■メニュー画面	10
■タッチスクリーン機能	11
■カメラ表示切替	12
■一般設定	13
■本体設定	14
■録画モード	15
■駐車監視	16
■バック連動	17
■再生画面	18
■よくある質問	19
■製品仕様	20
■ファームウェアについて	21

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとリアカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。イベント映像(手動、衝撃検知、駐車監視)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合

※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

使用上のご注意

11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

■本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。

■故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

■録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。

■運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。

■本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。

microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。

■本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。

■車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

■記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

■LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

【microSDカードについて】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

※仕様変更などにより本書の内容と本機が一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認ください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12V/24Vマイナスアース車専用です。
12V普通車専用です。上記以外のお車にはご使用いただけません。火災や事故の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

安全上のご注意



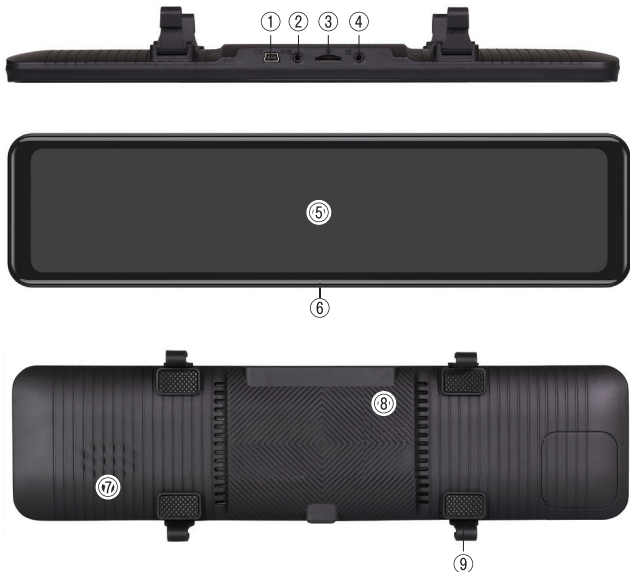
- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面が黒くなってから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードを使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあてないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



- | | | |
|--------------|---------|----------|
| ①電源入力 (DC5V) | ⑤液晶モニター | ⑧リセットボタン |
| ②フロントカメラ入力 | ⑥電源ボタン | ⑨取付ゴム固定具 |
| ③microSDスロット | ⑦スピーカー | |
| ④リアカメラ入力 | | |

※リセットボタンは本体が正しく動作しなくなった時に押してください。
ボタンを押すと強制的に再起動します。

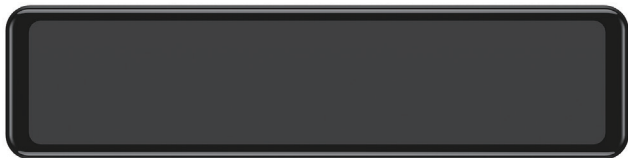
※MDR-G005#は「②フロントカメラ入力」は使用しません。

microSDカードの挿入・取り出し

■カードを挿入する

本体上部microSDスロットにmicroSDカードを挿入します。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

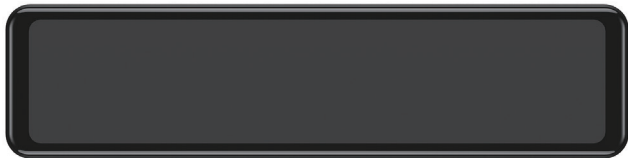


■カードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。

microSDカードを押して、カードが少し飛び出たら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、128GBまでのものをご利用ください。

※microSDカードは本体からフォーマットを行ってください。

電源のON/OFF

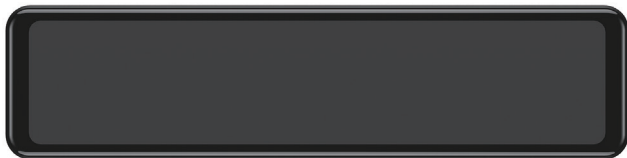
■電源のON

車のエンジンを始動 (ACCをON) すると自動的に起動します。
起動と同時にフロント/リアの2カメラで録画を開始します。
画面操作ボタンをタッチしてフロント/リアカメラ表示の切替ができます。



■電源のOFF

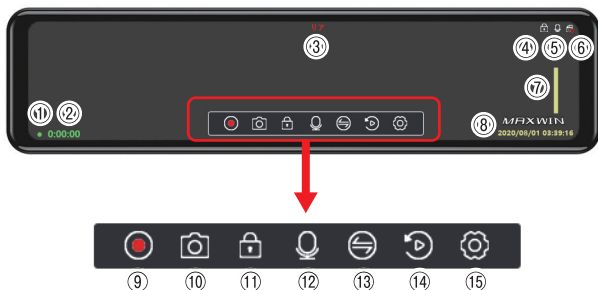
車両のエンジンを停止 (ACCをOFF) すると、自動的に停止します。
また電源ボタン長押しでON/OFF切替もできます。



電源ボタン

メニュー画面

画面をタッチするとメニューが表示されます。



- ① 録画中マーク
- ② 録画時間
- ③ 表示カメラ
- ④ ファイルロックON/OFF表示
- ⑤ 録音ON/OFFマーク
- ⑥ SDカード検知マーク
- ⑦ 画面輝度設定マーク
- ⑧ 日付・時刻表示
- ⑨ 録画ボタン…録画を開始/停止します。
- ⑩ 静止画ボタン…静止画を撮影します。
- ⑪ ロック/ロック解除ボタン…ボタンを押した時点の録画ファイルをロックします。
※ロックされたファイルは上書きされません。
必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。
- ⑫ 録音設定ボタン…録音設定をON/OFFします。
- ⑬ カメラ切り替えボタン…カメラ表示画面を切り替えます。
- ⑭ 再生ボタン…再生画面へ移行します。
- ⑮ 設定メニューボタン…録音設定をON/OFFします。

⚠ 日時表示について

日時表示は設定画面より手動で設定してください。

※期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされることがあります。

※MDR-G005#は一部の機能がありません。

タッチスクリーン機能

画面をタッチ・スライドするとカメラ表示アングルや明るさ、カメラ表示切替など様々な操作ができます。



- ①画面左側を上下にスライド…上下にアングル調整します。
- ②画面右側「画面輝度設定マーク」を上下にスライド…画面の輝度(明るさ)を調整します。
※録画ファイルの輝度には影響しません。



- ③画面を左から右へスライド…カメラ表示を切り替えます。

カメラ表示切替

画面を右から左へスライドするたびにカメラ表示が切り替わります。

リアカメラ
表示



リア/フロント
表示



フロント/リア
表示

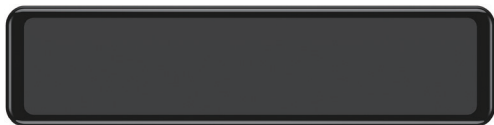


フロントカメラ
表示



■カメラ表示OFF

電源ボタン短押しでカメラ表示がOFFになり、通常のミラーとしてご使用いただけます。再度電源ボタンを短押しまたは画面タッチでデジタルミラーに戻ります。



※MDR-G005#は一部表示が異なります。

一般設定

メニュー画面でアイコンをタッチして各項目を設定します。



《ループ録画》ループ録画の時間を設定します。

《駐車監視》駐車監視モードを設定します。

※別売三芯電源ケーブル(型番:MDR-CCAB01)が必要です。

《バック連動》バック連動時のカメラ表示範囲を設定します。

《言語》表示言語を設定します。

《音量》操作音量を設定します。

《スクリーンセーバー》操作しない場合に自動で液晶表示OFFになるまでの時間を設定します。

《鏡像/正像》フロントカメラ、リアカメラの鏡像/正像を設定します。

《本体設定》本体設定メニューへ移行します。

※MDR-G005#の設定は一部機能しません。

本体設定

メニュー画面でアイコンをタッチして各項目を設定します。



《日時設定》日時を設定します。

《フォーマット》microSDカードをフォーマットします。

《設定初期化》各設定を初期化します。

《バージョン》本製品のバージョン情報を表示します。

録画モード

■常時録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。

設定により、1分/2分/3分/5分/10分と録画時間を設定できます。

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。

【録画時間を1分に設定】



駐車監視

別売三芯電源ケーブル(型番:MDR-CCAB01)接続、「駐車録画」設定がOFF以外の場合で機能します。

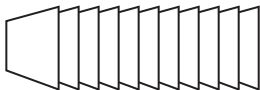
■タイムラプス録画(時間監: 30分~48時間まで設定可能)

撮影枚数を少なくして映像を記録する機能で、通常の録画より使用するメモリー容量を抑えることができます。

また短い動画に圧縮して保存することでバッテリー使用容量を抑え、長時間の駐車監視が可能になります。

(例)

通常
録画



1秒間に25枚撮影(25fps)

タイムラプス
録画



1秒間に1枚撮影(1fps)

■衝撃クイック録画

車両のエンジンをOFFにすると駐車録画モード(Gセンサー検知スタンバイ状態)になり、衝撃を検知すると自動的に約20秒間録画し、録画終了後再び駐車録画モードに移行します。

衝撃検知



駐車録画モード

15秒間の駐車監視録画

駐車録画モード

記録開始

電源OFF

※駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。

※ドアを閉めた時の振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。

※撮影された映像ファイルはmicroSDカードの容量上限に達すると古いファイルから上書きされます。重要なデータの消失を防ぐために定期的なバックアップをおすすめします。

※リアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。

※本体バッテリーの残容量により録画時間が変わる場合があります。バッテリー切れの場合は駐車監視は機能しません。

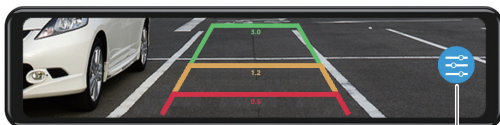
バック連動

バック連動線を接続している場合、バックギア入力時にバック補助線が表示されます。
※バック時のカメラアングルは一番下になります。

通常時



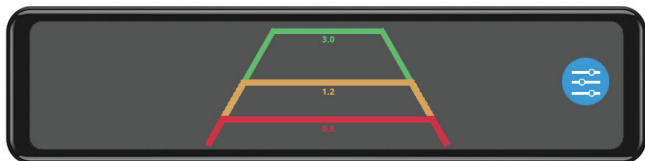
バック連動時



※イメージ

ガイドライン調整
アイコン

ガイドライン調整アイコンをタッチすると、ガイドライン調整項目が表示されます。
それぞれの左右ボタンをタッチして調整できます。



再生画面

メニュー画面の「⑭再生ボタン」をタッチして再生画面を表示します。
録画したファイルの再生や削除の操作ができます。



- | | | |
|------------------|-------------|------------|
| ①録画ファイル | ⑥標準/全画面表示切替 | ⑪ファイルリスト |
| ②ロックファイル | ⑦ファイルロック | ⑫リストの次頁へ移動 |
| ③フロント/リア切替 | ⑧ロック解除 | ⑬再生時間 |
| ④カメラ表示画面へ戻る | ⑨ファイル削除 | |
| ⑤ファイルモード(録画/静止画) | ⑩すべて削除 | |

■ファイルを再生する

⑤ファイルモードをタッチして動画【常時録画／緊急録画(ロックファイル)】または静止画のファイルモードを選びます。

⑪ファイルリストを上下にスライドして再生したいファイルのサムネイルをタッチすると、画面右側で再生が始まります。

■ファイルの削除

⑨ゴミ箱のアイコンをタッチしてファイルリストから削除したいファイルを選択します。再度⑨をタッチすると選択したファイルを削除します。

リスト内のすべてのファイルを削除する場合は⑩全選択アイコンをタッチして⑨をタッチします。

※MDR-G005#の一部表示が異なります。

よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない	電源の接続をご確認ください。 本機に電源が供給されていない可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
LED信号機のライトが確認できない	映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。 信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
時計がずれている	日時表示は設定画面より手動で設定してください。 期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされることがあります。
ディスプレイに操作ボタンが表示されない	起動後、しばらく画面操作をしないと自動的に表示が消えます。 画面をタッチしてください。

製品仕様

モニター	11.88インチIPS液晶 1480×320(Pixel)
録画解像度	《フロント》1080P 《リア》1080P
記録方式	常時録画(ループ録画) 緊急録画(手動)
録画ファイル形式	.TS
記録媒体	microSDカード 8GB~128GB (class10推奨)
使用電圧	DC12V/24V (本体電源入力DC5V)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://maxwin.jp/>

MAXWIN